

日本基督教団 御中

2018年7月2日  
日本基督教団大阪教区  
総会議長 小笠原純

主の聖名を賛美いたします。

大阪北部地震から二週間ほどになります。余震もまだありますが、少しずつ落ち着きを取り戻しつつあります。

大阪北部地震に際しまして加藤 誠 幹事をお送りくださり、台湾基督長老教会からのお見舞金をお届けくださり、ありがとうございます。教団・諸教区の温かい交わりの中にあることに大きな励ましをいただきました。こころから感謝いたします。

大阪教区では地震当初から、諸教会・伝道所の安否確認・被害状況の確認を行いました。6月18日（月）に行われる予定でありました教区常置委員会を、地震の状況・交通網の状況から、6月22日（金）に延期いたしました。教区常置委員会では、諸教会・伝道所に「お見舞いと経過報告」を送り、また地震当初には気がつかなかった被害の状況やまた現在の地震（災害）に対する備えをどのように行っているのかをお聞きするために、「お知らせとお願い」を送ることにいたしました。

もう少し被害の状況を収集したうえで、7月17日（火）に開かれる教区常置委員会で、今後のことなども話し合うことにしております。

豪雨や竜巻など、各地で災害が起こっております。これ以上、全国各地で新たな災害が起こらないようにと祈っております。今後とも、互いに支え合う教団・教区の交わりを、よろしく願ひいたします。

神さまのお守りと平安とがありますようにとお祈りしています。